

平成31年(2019年)がスタートしました。1月8日の始業式においては、生徒たちに「できない」ではなく「できる」、「でも」ではなく「やれる」「やる」という精神で何事にもチャレンジし、その過程が自分自身を成長させてくれることなどを話したところです。今年も、生徒、職員一丸となり頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【課題研究及び実践発表会】

1月24日(木)の午後、今年度の「課題研究及び実践発表会」を開催しました。今年度から新しい取り組みとして、3年生ビジネス情報科の生徒たちが1年かけて実践してきた、「地域連携型交流学习」(長期インターンシップ)の発表が行われました。



短期ではなく長期にわたるインターンシップのため学ぶこともたくさんあったようです。自らが実習する企業において「指導して頂いている人の強み」や「指導して頂いている人の志」等を一人一人発表しました。実習先の職場の方のプロ意識の高さやコミュニケーション能力がいかに働く上で大切

かを、生徒たちは長期にわたり職場の方々と接し痛感したようです。また、福祉教養コースの実習における体験発表も行われ、学科間を超えた発表会が行われ、発表を聞いた1、2年生も先輩たちの取組みに大変刺激を受けたようです。発表会では、「家庭科の調査研究の発表」、「生徒商業研究発表」、「海外(香港)視察研修」の報告も行われ、生徒たちの堂々とした発表に、生徒たちの可能性の高さをひしひしと感じたところです。



【白旗小学校の皆さんとの仮設住宅訪問餅つき】

甲佐町立白旗小学校の皆さんは、熊本地震以来、仮設住宅を訪問されるなど震災からの復旧、復興に向けた活動を積極的に行っておられます。昨年から取り組まれている白旗仮設住宅訪問の餅つきもその一環です。白旗小学校の皆さんや地域の方々との交流、また、防災意識や地震からの復興を共に考える時間とすることを目的として、本校の生徒会の生徒たちも参加させていただきました。臼でつく餅つきはなかなか経験することができな



いのですが、生徒たちは慣れないながらも、地域の方々のご指導を受け次第にコツをつかみ、気持ちを込めた餅つきができたようです。できあがった餅は貴重な空間を共にした皆さんと一緒に食べさせて頂きました。地震からの復旧、復興に向けたお話をお聞きすることもでき、貴重な交流の場となりました。そして、小学校の皆さんとの触れ合いを通して、生徒たちも小・高の連携の大切さを感じ、また、地域を大切にする心を高めてくれたようです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

